

とうきょう すくわくプログラム活動報告書

| | |
|----------|----------------|
| 園名 | 西巣鴨・学びの保育園 |
| 活動日時 | 令和7年 2月 25日(水) |
| クラス名(年齢) | 0歳児クラス |
| 年間テーマ | 光 |

1. 活動テーマ

<テーマ>

光を動かす

<テーマ設定理由(子どもの姿)>

光への関心が高まっている子どもたち。興味を持つと、気になって自分でやってみようとするが増えたため。

2. 活動スケジュール

室内を暗くして、ライトテーブルを使って光と影の空間をじっくり楽しむ。タイミングを見て透ける玩具や普段遊んでいる玩具を置いて遊ぶ。

3. 環境をデザインする(活動のために準備した素材や道具、環境設定)



- ・室内のカーテンを閉め、電気を消して暗くする
- ・ライトテーブルを用意し、優しい明るさで電気をつける
- ・透ける素材のマグブロックや色水ボトル、普段遊んでいる玩具

4. 探求活動の実践

<活動内容>

光と影のコントラストを空間全体で感じられるようにして、じっくりと楽しめるようにした。なんでも自分たちでやろうとする姿があるので、子どもが好きに手に取って光が色水にあたる様子やその中の泡の動、玩具のいつもと違う見え方などを自分で試行錯誤してみる。

<活動中の子どもの姿・声、子ども同士や保育者との関わり>

| 子どもの声・姿 | 写真 |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>保育者がライトテーブルに色水のボトルを置くと、すぐに傾けたり転がしたりして動かす。</p> <p>「泡があるね、ぷくぷく綺麗だね」などと声をかけるとボトル内の泡に気づき、自分でも泡を見ようとボトルを動かして何度も試す。</p> <p>大好きな電車の玩具がライトテーブルの上ではいつもと見え方が違い、置いたり取ったりを繰り返す。自分の手もかざしてみても「おおー」と光る手を見て喜ぶ。</p> |  |
| <p>いつもの保育室内に帰った後、いつも通り遊ぶ中でジュエルゴマを見つけた児が、自分で角度を調節して反射の光を出そうと試行錯誤していた。光が見えると「きらきらあったね」という保育者の共感の声掛けに嬉しそうにする。</p> |  |

5. 振り返り(振り返りによって得た保育者の気づき)

職員会議で振り返りを行う。

何でも自分たちでやってみようとする発達時期と子ども達の興味関心がうまくかみ合い、それぞれが「これはどうかな」「こうやってみようかな」「こうすると面白い！」と感じ、さらなる意欲関心に繋がっていたようだった。暗い部屋という特別感のある空間で、感覚的に光や影を学んでいたように感じる。